



こすもスマイル



61号 発行：小林市立病院 地域医療連携室 令和5年5月

～病院長のあいさつ～



新年度を迎え、ごあいさつ申し上げます。

約3年間のコロナ禍で、罹患され辛い思いをされた方、また不幸な転帰をたどられた方、そのご家族にはお見舞い、お悔やみを申し上げます。

当院は通常医療とコロナ医療との両立を目指していましたが、昨年末から年始にかけて第8波の影響で通常医療を制限せざる得ない状況となり、皆様にはご迷惑おかけしたことをお詫びいたします。本年5月より第5類に移行されることとなり対応が変わることになりますが、感染症であることから入院、外来での感染予防には努めていきます。

当院は、この地域の手術、救急等の急性期医療を主に担っています。2022年の手術件数（消化器外科、泌尿器科、整形外科）は522件で例年と比較してほぼ横ばいで推移しており、救急車の受け入れ件数は785件、ドクターヘリ搬送件数は26件とともに増加傾向でした。地域の医療格差をなくすことが理想であるとは考えていますが、高次病院、専門病院での精査、治療等を紹介している患者さん、そのご家族にはご面倒かけていることをお詫びいたします。同時に当院では対応困難な病態、治療があり、住民の方に適確な医療を提供することが大切であることをご理解いただけたらと思っています。

当院は研修医、医学生、そして看護師をはじめ多種学生の実習を受け入れています。昨年も多くの研修医、実習生が当院で研修、実習をしました。その際に患者の方々にはご協力いただきました。その影響もあり本年度も多くの研修医派遣が予定されており、感謝いたします。われわれ職員も彼らに魅力をもってもらえる医療を実践しなければならないと考えています。

多くのご紹介をいただいている周囲の医療機関の先生方、職員の皆様には、当院の種々の事情をご理解いただき、急性期治療後の回復期あるいは慢性期医療の患者さんに対してのご対応に感謝いたします。当院の医療体制には不十分な部分もありますが、地域医療の充実には周囲の医療機関との連携が重要と考えていますので、引き続きご理解、ご協力よろしくをお願いいたします。

2023年度もよろしくをお願いいたします。

小林市立病院 病院長 徳田 浩喜

【理 念】

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



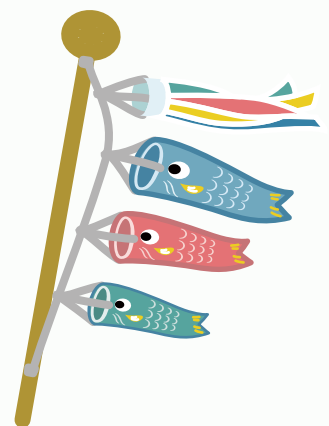
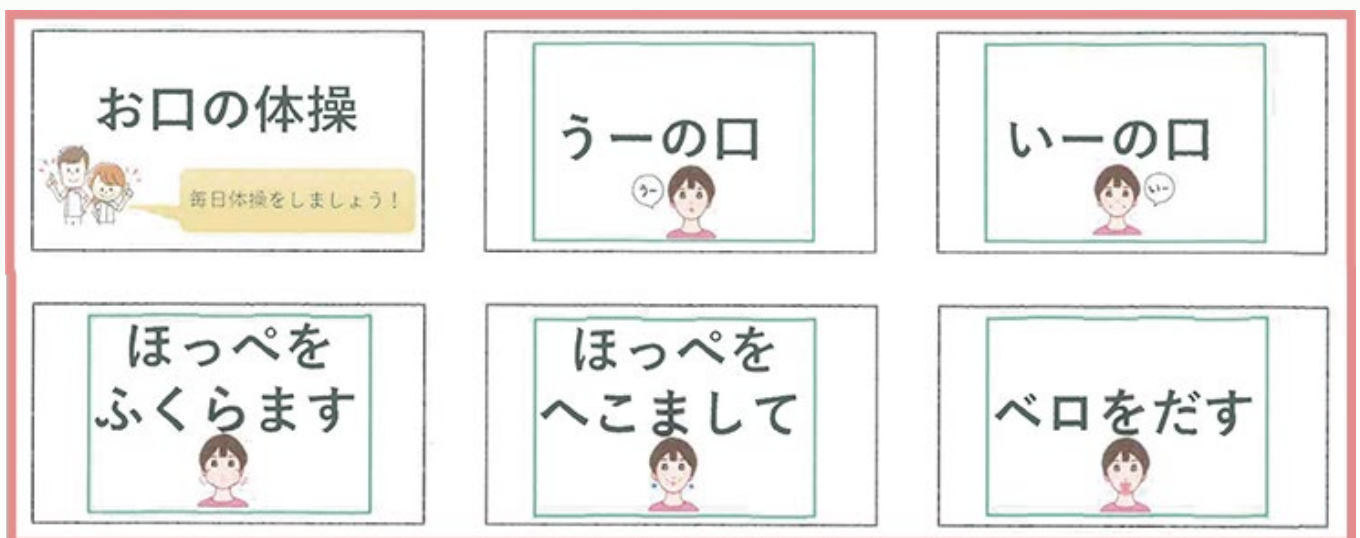
4 階西病棟紹介



4階西病棟は、脳血管疾患の発症や脊髄損傷、大腿骨骨折などの受傷から比較的早期に入棟し、在宅復帰や職場復帰など再び社会活動へ参加できるよう集中的にリハビリテーションを実施する病棟（回復期リハビリテーション病棟）です。

そのため、病棟では365日リハビリテーションを提供できる体制を整えています。医師をはじめ、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・介護福祉士・看護補助者など多くの職種が協力し、退院に向けた支援をさまざまな角度から検討・実施しています。

また、当病棟では安全に食事摂取ができるよう、食事前の口腔体操に取り組んでいます。食事を安全に摂取することでリハビリテーションを行う際の体力づくりの一助となるよう、スタッフ一丸となり取り組みを継続していきます。



4 階西病棟 主任看護師 田原 真美代



栄養情報だより



〈臨床栄養室〉

～その食事、鉄分たりてますか？～

最近「疲れやすいな」「体がだるいな」「ふらふらするな」と感じることはありませんか。鉄分が不足していると、このような症状が感じられます。外での活動が増えてくるころだと思いますので鉄分補給も意識し、充実した毎日にしましょう(^_^)

鉄分の1日の推奨量・・・男性：7.0 mg、女性：6.0 mg（日本人食事摂取基準より）

※男女とも70歳以上の場合

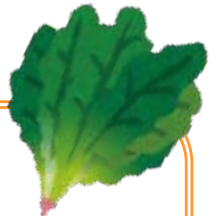
食品であれば・・・牛もも肉（約300g）、生かき（約17～18個）、ほうれん草（約1束半）が鉄分1日の推奨量となります。



ヘム鉄



- 吸収率：15～25%
 - 動物性の食品に多く含まれる。
- ＜例＞
赤身肉、レバー、魚、貝類



非ヘム鉄

- 吸収率：2～5%
 - 植物性の食品に多く含まれる。
- ＜例＞
ほうれん草、大豆製品、豆類

鉄分には、「ヘム鉄」と「非ヘム鉄」が存在し、吸収率に差があります。吸収率の低い非ヘム鉄の食品はヘム鉄の食品と一緒に摂取することで吸収がよくなります！

◎レバニラ炒め 鉄分：4.4 mg

＜レバー：100g (4mg) ニラ：50g (0.4mg)＞ ※（ ）内、鉄分量
「ヘム鉄」を含むレバーと「非ヘム鉄」を含むニラと一緒に調理することで吸収率をUPさせます。



◎フルーツヨーグルト 鉄分：0.3 mg

＜ヨーグルト：100g (0mg) レーズン：5g (0.1mg) イチジク：1個 (0.2mg)＞ ※（ ）内、鉄分量
果物には、「非ヘム鉄」の吸収をよくする、ビタミンCが豊富に含まれています。積極的に摂りましょう。



地域医療連携室紹介



現在、地域医療連携室には2名の事務員が在籍しています。
事務員の主な業務として、データ集計、『こすもスマイル』の発行、患者さんや他医療機関からの予約や相談等の電話対応があります。

今回は予約についてご紹介します。

当院は西諸医療圏の中核病院として地域の医療機関と連携し、紹介予約制となっております。診察をご希望の方は、まず、「かかりつけ医」にご相談くださいようお願いいたします。各医療機関との連携や患者さんの待ち時間短縮を目的として、ご紹介の事前予約を行っております。（緊急の場合は、この限りではありません。）

「かかりつけ医」が生活環境や健康状態を把握していることで、ご紹介の際の診療情報提供がよりスムーズになるメリットがあります。もし「かかりつけ医」をお持ちでない方は、この機会に持つことをお勧めします。

これからも地域の皆さん、各医療機関や関係機関との円滑な連携に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

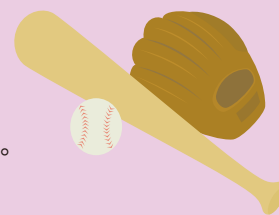
地域医療連携室 事務員 瀧口 麻希・柿木 良子

西諸華道連盟の皆様から、素晴らしいお花をいただきました。



スタッフのひとこと

桜の季節も過ぎ、あっという間にゴールデンウィークに突入しようとしています。
私がこの記事を書いているのが、WBC 真っ直中でしたので、まだまだ優勝の興奮冷めやらぬ状況で編集後記を書いています。侍 JAPAN の優勝で日本中が元気をもらいました。スポーツがもたらす活気と興奮を肌で感じ、改めてスポーツの持つ力を実感しました。
侍 JAPAN がくれたこの感動と興奮を活力にして、今後も仕事に精進していきます。



医師事務作業補助者 嶺石 利菜

連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225 (直通)

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp